

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	協働の力でふるさと回帰を実現する事業
対象地域	福島県の県南地区 白河市、西郷村、泉崎村、矢吹町、中島村、棚倉町、塙町、矢祭町、鮫川村
対象地域の概要	   【位置図】 【廃屋になっている民家】 【耕作放棄されて荒廃した田】
提案内容の概要	インターメディアリーであるNPO法人を中心として、産学官民が協働する事により、ふるさと回帰を地域に実現させる。また、リタイアメント・コミュニティ・ビジネスの先進モデルを、この地域に企画提案して推進する。さらに活動を通じて、移住者と地元住民が連携して新たなコミュニティを創出し、地域の活性化を図る。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	福島県の県南地区は、関東に近く東北新幹線や東北自動車道、福島空港などの交通インフラが整備されて便利で、移住地として高い人気に関わらず、都会からの交流居住や移住が思ったほど進んでいない。また、辺鄙な農村部では、著しい人口減少や高齢化の課題も抱え、その改善も進んでいない。それらの地域では、遊休耕作地や手入れされず荒れ放題になった山林も目立ち、国土の荒廃という課題を示している。さらには、近年地域コミュニティも崩壊傾向にあり、共に支えあう関係が希薄になり、田舎暮らしの良さが次第に失われつつある。当然、優秀な人材が都市部や都会に流出していて、まちづくりや地域活性化がままならない状況にあり、抜本的な対策が求められている。
(2) 活動内容の案	活動①：リタイアメント・コミュニティ・ビジネスの先進モデルを企画提案する 内容：リタイアメント・コミュニティ・ビジネスを研究している大学の研究者と、地域の民間企業と一緒に共同研究して、先進的でしかも地域の実情にあったモデルを構築する。引退移動によるこの移住モデルがビジネス面においてもしっかり機能し、十分な移住者を獲得して収支バランスが取れるかどうか、綿密なマーケット調査と収支予想を行なう。 さらには、そのモデルに対して、行政として何が支援できるのかを県や市町村と協議をして、協働のありかたについても煮詰める。そして、この先進的ビジネスモデルが有効だと確認出来たら、全国に向けて情報発信を行なう。 活動②：田舎暮らし体験交流ツアーの開催 内容：産学官民が協働で体験交流ツアーを企画して開催する。参加対象は都会に暮らしていて、田舎暮らしを希望している家族。移住や二地域居住に適するような、行政が販売している住宅団地や近辺の里山を見学してもらい、移住した後の生活を予想できるように配慮する。ツアーの中に、地域のNPOや市民活動団体の見学を織り込んで、移住後にそれらの団体において活躍出来るフィールドが用意されていて、社会貢献の喜びが実感できることをアピールする。宿泊場所は白河市の関の森公園内にある都市農村交流センターを予定していて、地元の新鮮採れたて野菜を使用した郷土の伝統田舎料理を、地域住民の協力を得て提供する。歓迎レセプションでは、地酒を酌み交わしながら参加者が地域住民・既移住者と交流して、懇親を深める。ツアーの中で、阿武隈川の源流を巡るハイキングを、地元山岳会のボランティアガイドの協力を得て実施して、地元農民や住民と一緒に水資源の貴重さとその水を守る為の治山治水事業の大切さを実感する。また、完成開通した国道289号線甲子トンネルを見学して、地方における交通インフラ整備がもたらす地方への影響を知ってもらい、その必要性について認識してもらうと共に、国の直轄事業への理解を得る機会にする。このツアーの参加者に、リタイアメント・コミュ

	ニティ・ビジネス先進モデルについて説明するとともに、実験予定地を見学して感想・意見を求める。このツアーガイド役は、前年度の田舎暮らしコンシェルジュ養成講座で認定したコンシェルジュが、務める。 活動③： 田舎暮らしコンシェルジュ養成講座の開講 内容：平成20年度も開講した田舎暮らしコンシェルジュ養成講座を企画運営して、コンシェルジュを養成する。参加者を県南地区の広域に求め、地域の中で既に移住者に対する支援をしている人や、既移住者でこれから移住する人たちの支援をしたいと考えている人たちを掘り起こす。そういった高い志を持った参加者に、ふるさと回帰運動の理念や未来ビジョンを認識してもらうと共に、移住者支援の技術・知識・応対などについて学ぶ機会を提供する。講座修了者に田舎暮らしコンシェルジュ認定証を交付して、支援する立場にあるという自覚を持たせると共に、今後の自己研鑽に努めるきっかけにする。この養成講座により、各地域にコンシェルジュを配置できて、移住者を支援する体制が整備されているということを内外に広く情報発信して、この地区に安心して移住が出来るという事をアピールする。養成したコンシェルジュたちのネットワークを整備して、会員どうしの情報交換が出来るようにする。また、このコンシェルジュを中心にして、田舎暮らし大学を常設する為の企画と準備をする。この田舎暮らしコンシェルジュ養成講座のカリキュラムと講座内容を情報公開して、全国で同じような取り組みをする際の参考に資する。
応募団体名	NPO法人白河ふるさと回帰支援センター、NPO法人しらかわ市民活動支援会
リンク	http://furusatokaiki.com/
部局／担当者名	白河ふるさと回帰支援センター副理事長／舟木 仁
連絡先	0248-24-1099
推薦市町村名	福島県白河市